

こ 子ネズミ フリーティー

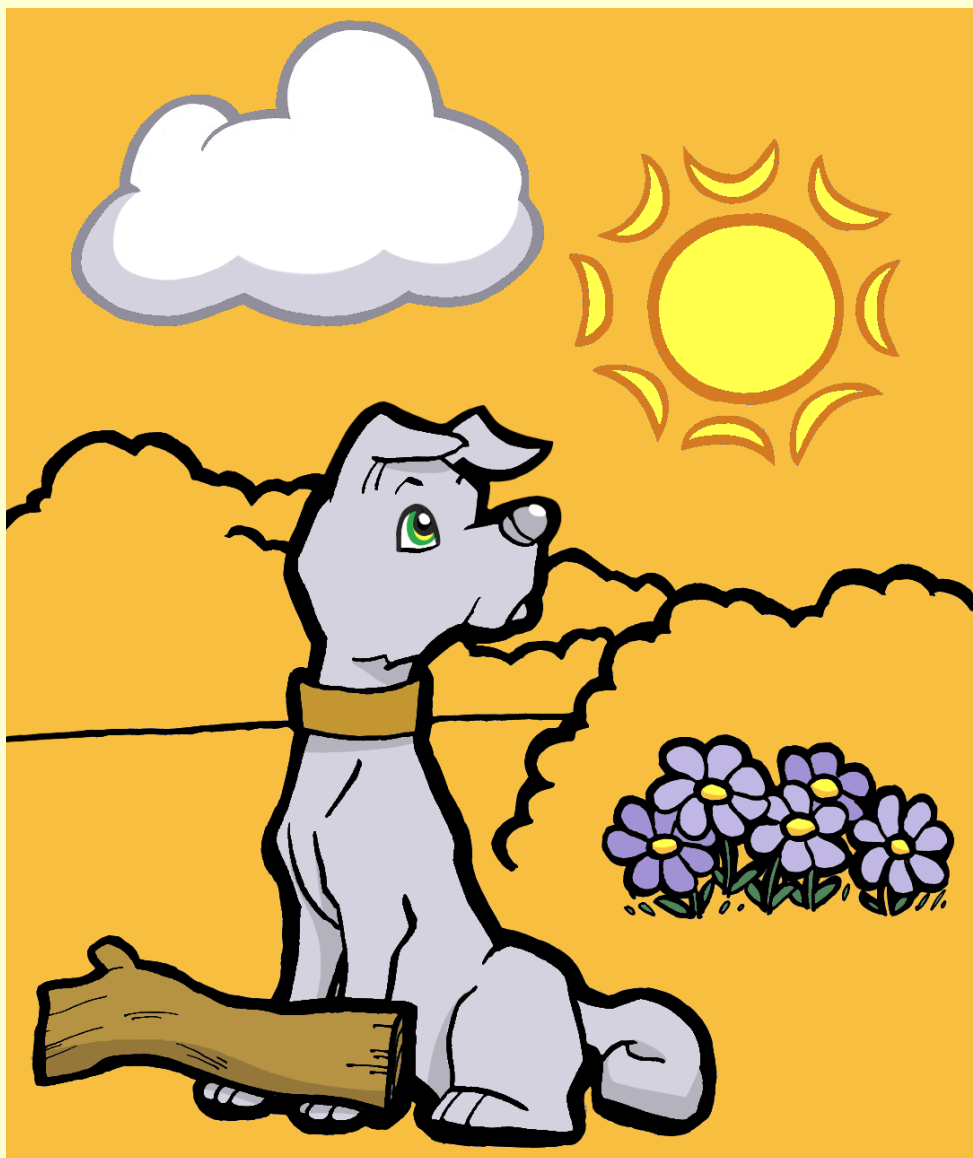
フリーティーは、^{しあわ}幸せな ^こ子ネズミ。

ものすごく ^{おお}大きな ^{おお}うちに
^す住んでいました。

^{まいにち}毎日 ^{はし}ちょろちょろ ^{まわ}走り回っては、

あちこち ^{たんけん}探検するのに
^{おお}大いそがしです。





ある^ひ日、まどの^{そと}外に^{おお}大きな^{いぬ}犬を^{はっけん}発見。

にわ^に庭で、お^お落ちて^{ふる}いる^{まる}古い^た丸太を^{くんくん}クンクン
かいています。

ご^{しゅじん}主人が^{いぬ}よぶと、犬は^{はし}すぐに^い走って
行きました。

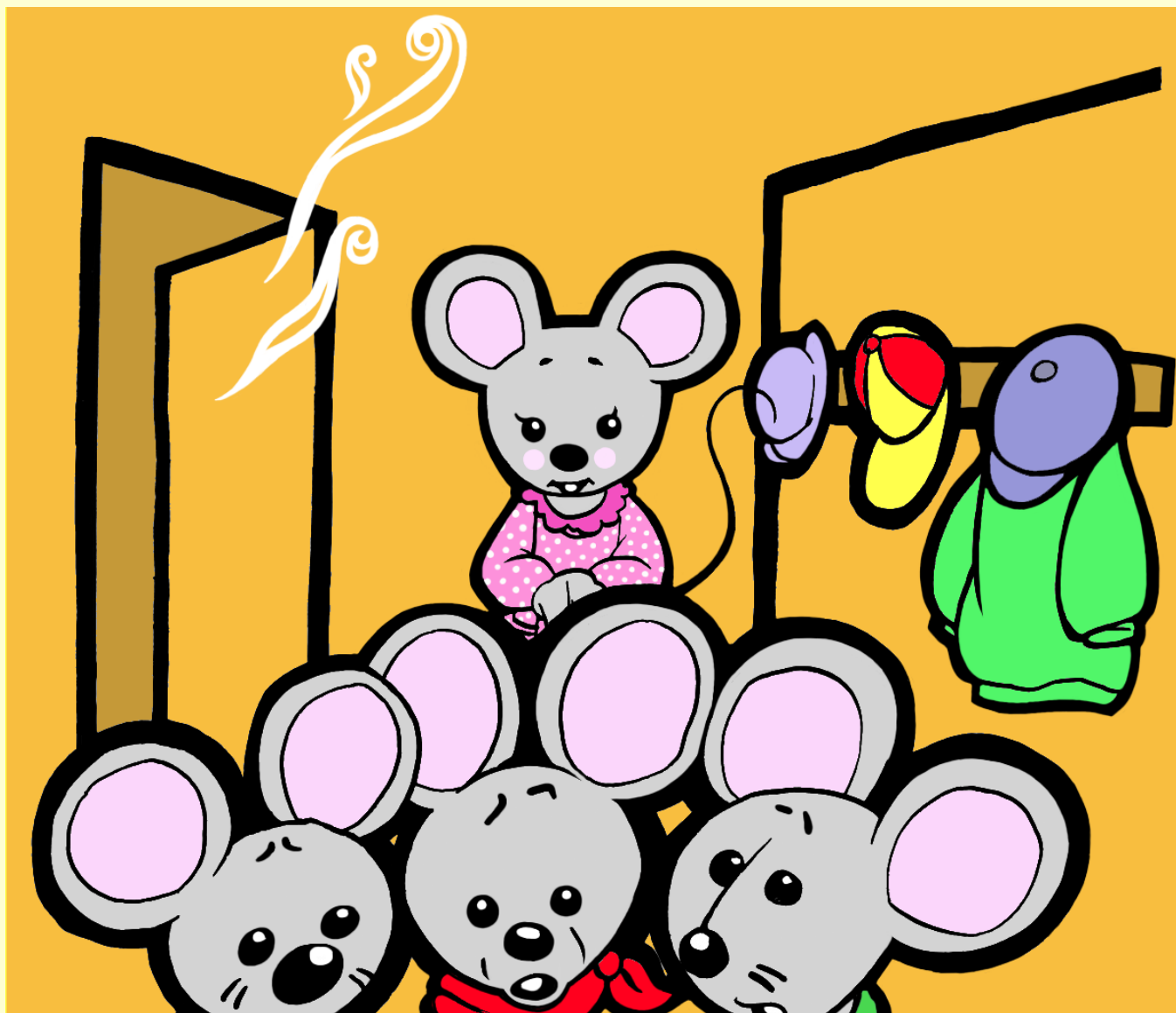
フリーティーは^みそれを見^{いぬ}て、犬^いって
すぐに^き言うことを^{おも}聞^{おも}くんだなあと
思いました。

その ^ひ日の ^{ゆうがた}夕方のこと。
フリーティーと ^{おとうと}弟の
トプシーが、

^{あた}ら ^{とも}新しい ^{とも}友だちの
フロプシーと
^{あそ}遊んでいました。

そこへ、^{かあ}母さんネズミが
^き来て ^い言いました。

「^こ子どもたち、もう ^{なか}中に
^{はい}入って、ねる ^じしたくを
する ^{かん}時間ですよ。」





フリーティーは、^{きょう}今日 ^み見た
^{いぬ}犬のことを ^{おも}思い ^だ出しました。

フリーティーは ^{ぼう}棒きれを
^{した}下に ^お置くと、「はい、ママ。」

フリーティーは、すぐに
ママに ^{したが}従います。

「まあ、いい子ね。」
^{かあ}母さんネズミも にっこり。

けれども^{おとうと} 弟のトプシーは、
ぐずぐず、だらだら。

いつまでも ママの^い言うことを
^き聞きません。

おまけに、^な泣きべそ かいて、
「まだねたく ないよ〜！」





かあ
母さんネズミは、
おいしそうな
とうもろこしパイを
つく^まって 待^まっていました。

めそめそ せずに ママの
い^き言うことを 聞く^こ子は、
パイを もらいます。

それでも トプシーは
だだっこを やめません。

みんなは パイを
た^た食べたけど、
トプシーには パイは
ありません。

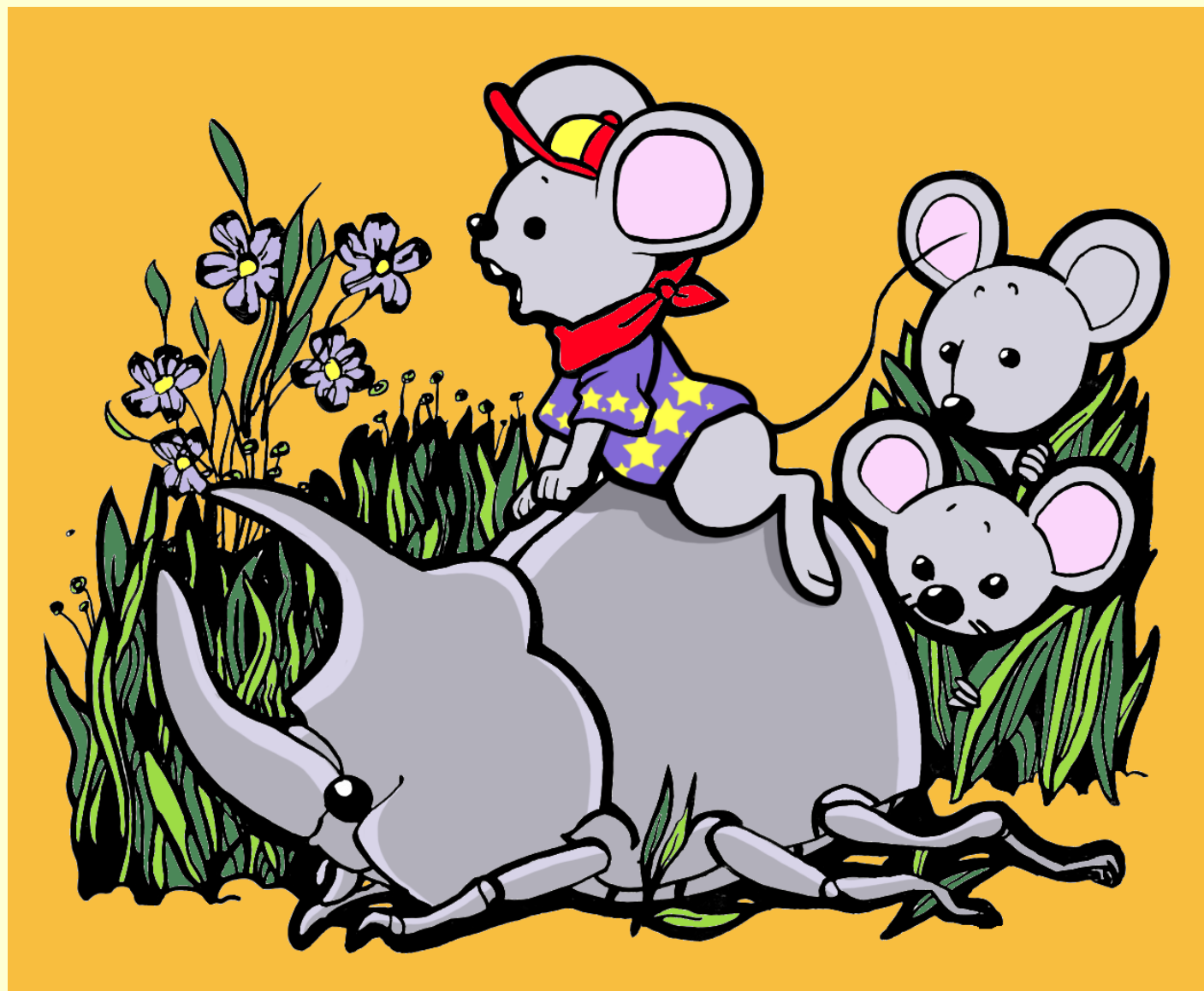
だから、みんなも
きょうくん まな
教訓を学ぼうね。

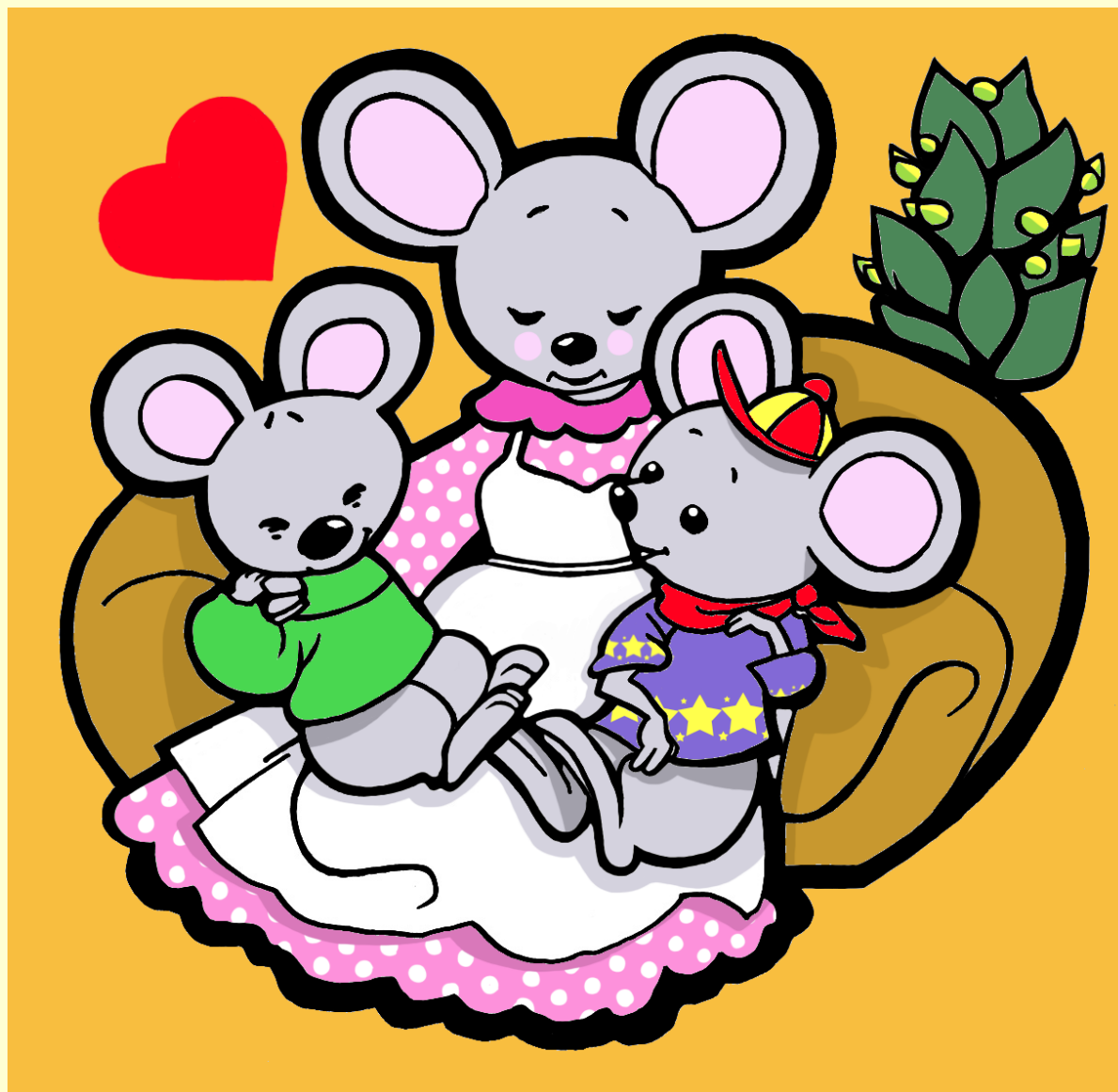
い
言いつけは、すぐに
き したが
聞き従うのが
いちばんだって こと。

そうすれば、ばん じ じゅんちょう
万事順調、
みんなもハッピー。

フリーティーが
い まも
言いつけをよく守ると、

まいにち
毎日が たのとても楽しく
す
過ごせたよ。





フリーティーは、いつも
こ^{おも}う思う。

「言^いいつけを ^{まも}守るのは
むずかしくても、
聞^きき^{したが}従うなら、ママは
^{ちょう}超ハッピー。」

フリーティーみたいに、
みんなも ママや パパを
ハッピーに してあげられるよ。

言^いいつけを ちゃんと ^{まも}守ればね。